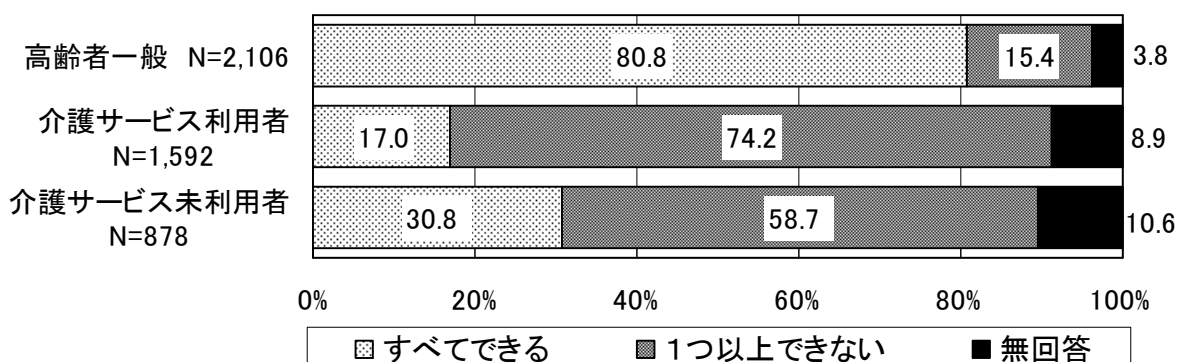
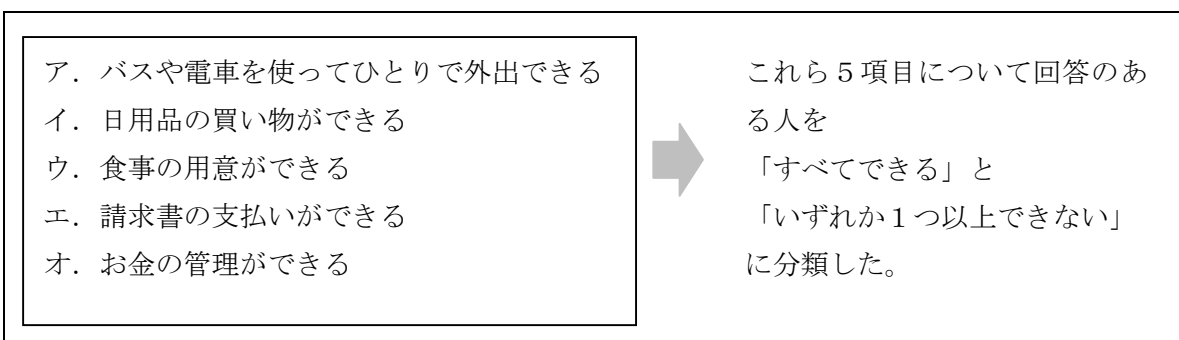


2. 日常生活の状況

(1) 日常生活での自立状況

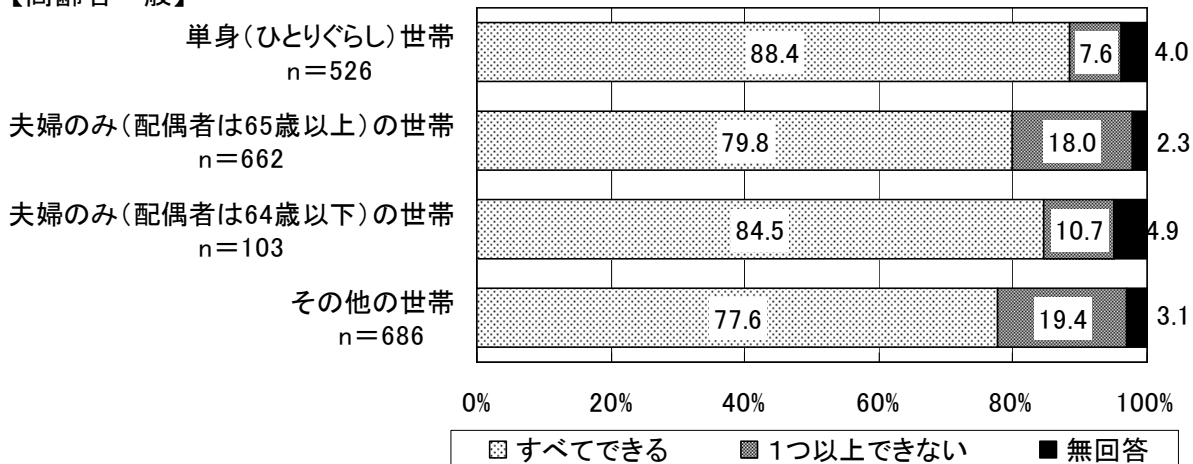
ア. 高齢者一般の日常生活における自立状況については、8割以上の方が「ア～オのすべてができる」と回答しており、日常生活において自立していることがわかる。
 イ. 世帯類型別にみると、単身（ひとりぐらし）世帯で、「すべてできる」の割合が高くなっている。

《自立状況の分析》



図表 11 日常生活での自立の状況（単数回答）

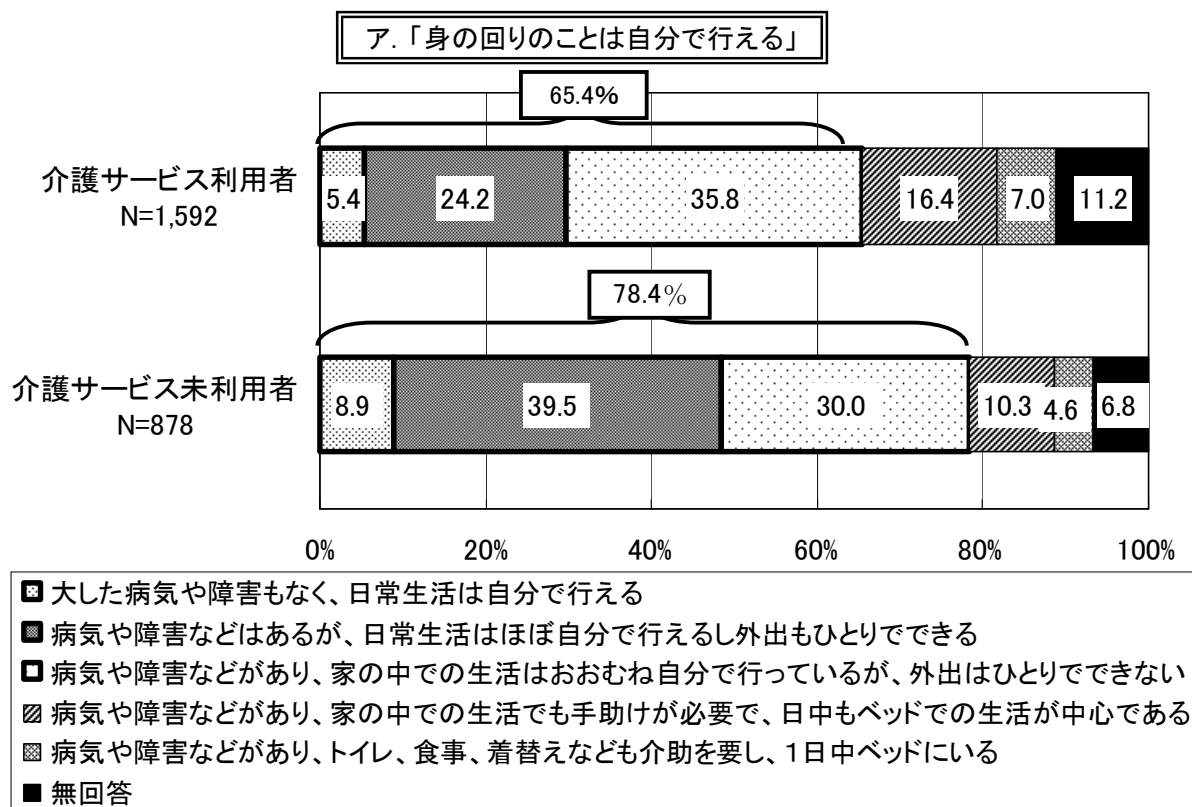
【高齢者一般】



図表 12 世帯類型×日常生活での自立の状況（単数回答）

(2) 病気や障害と自立の状況

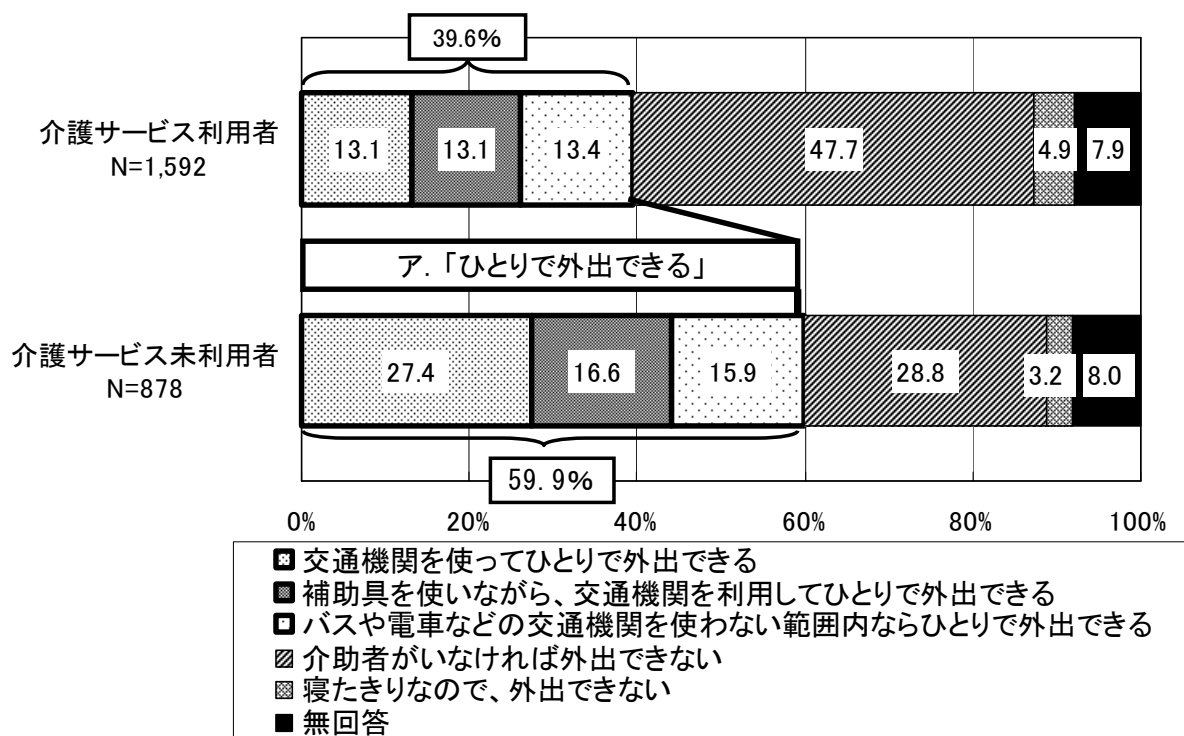
- ア. 健康状態についてみると、介護サービス利用者では7割弱、介護サービス未利用者では8割弱が、「身の回りのことは自分で行える」方であることがわかる。
- イ. 介護サービス利用者より介護サービス未利用者の方が、「日常生活は自分で行える」、「日常生活はほぼ自分で行えるし外出もひとりで行える」と回答する割合が高くなっている。



図表 13 日常生活での自立の状況 (単数回答)

(3) 外出時の状況

ア. 外出時の状況をみると、「ひとりで外出できる」と回答する割合が、介護サービス利用者が39.6%であるのに対し、介護サービス未利用者では59.9%と高くなっている。



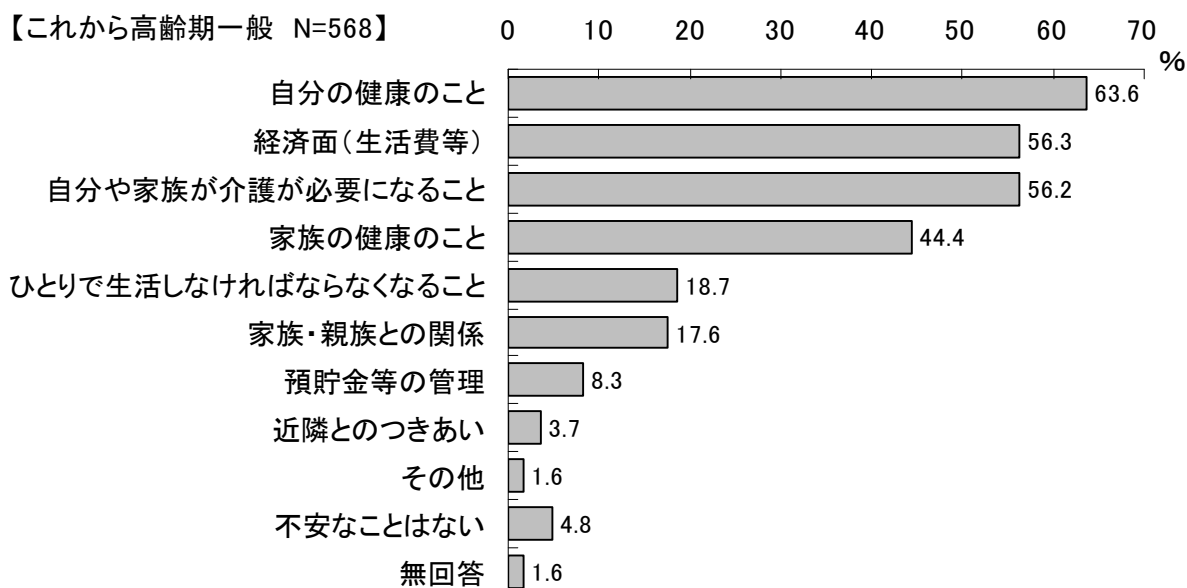
図表 14 外出時の状況 (単数回答)

(4) 将来（現在）の生活における不安や悩み事

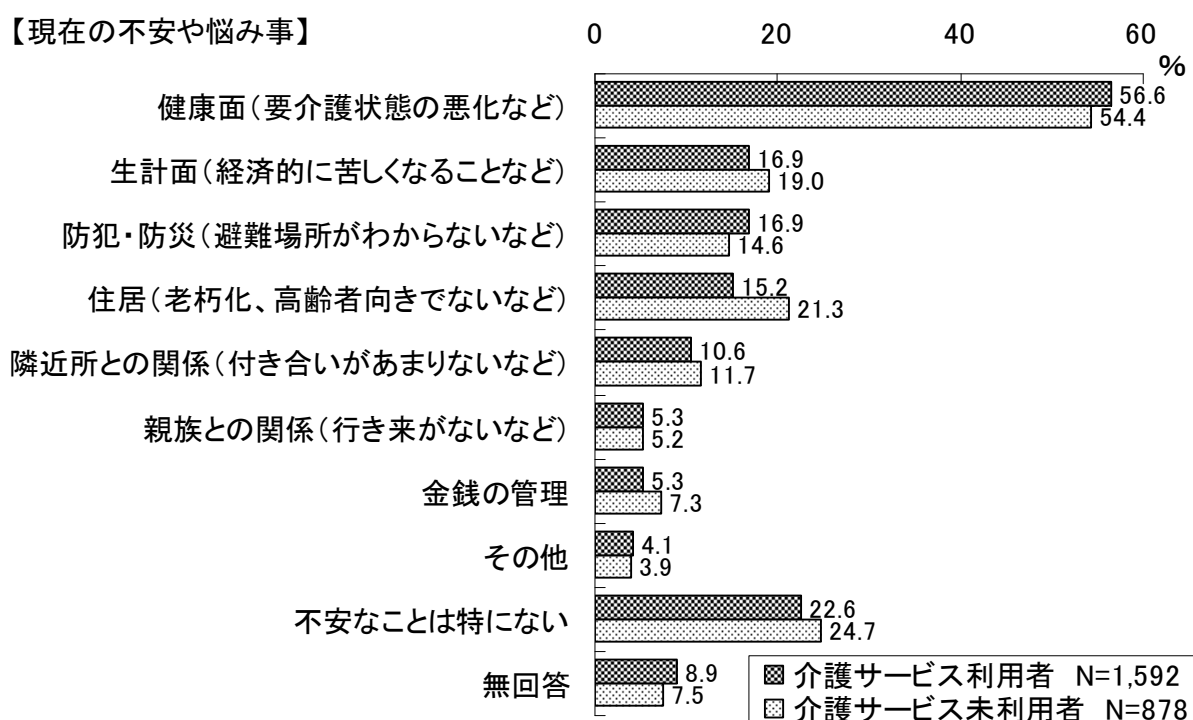
ア. これから高齢期一般の将来の不安や悩み事、介護サービス利用者および介護サービス未利用者の現在の不安や悩み事をみると、いずれも「自分の健康のこと（健康面）」をあげる割合が最も多い。

イ. この他の不安や悩み事としては、これから高齢期一般では、「経済面（生活費等）」、「自分や家族が介護が必要になること」をあげる割合が高い。

ウ. 介護サービス利用者、介護サービス未利用者では、「不安なことは特にない」をあげる割合が高く、健康面以外の項目はいずれも低い割合となっている。



図表 15 将来の不安や悩み事／これから高齢期一般 (複数回答)

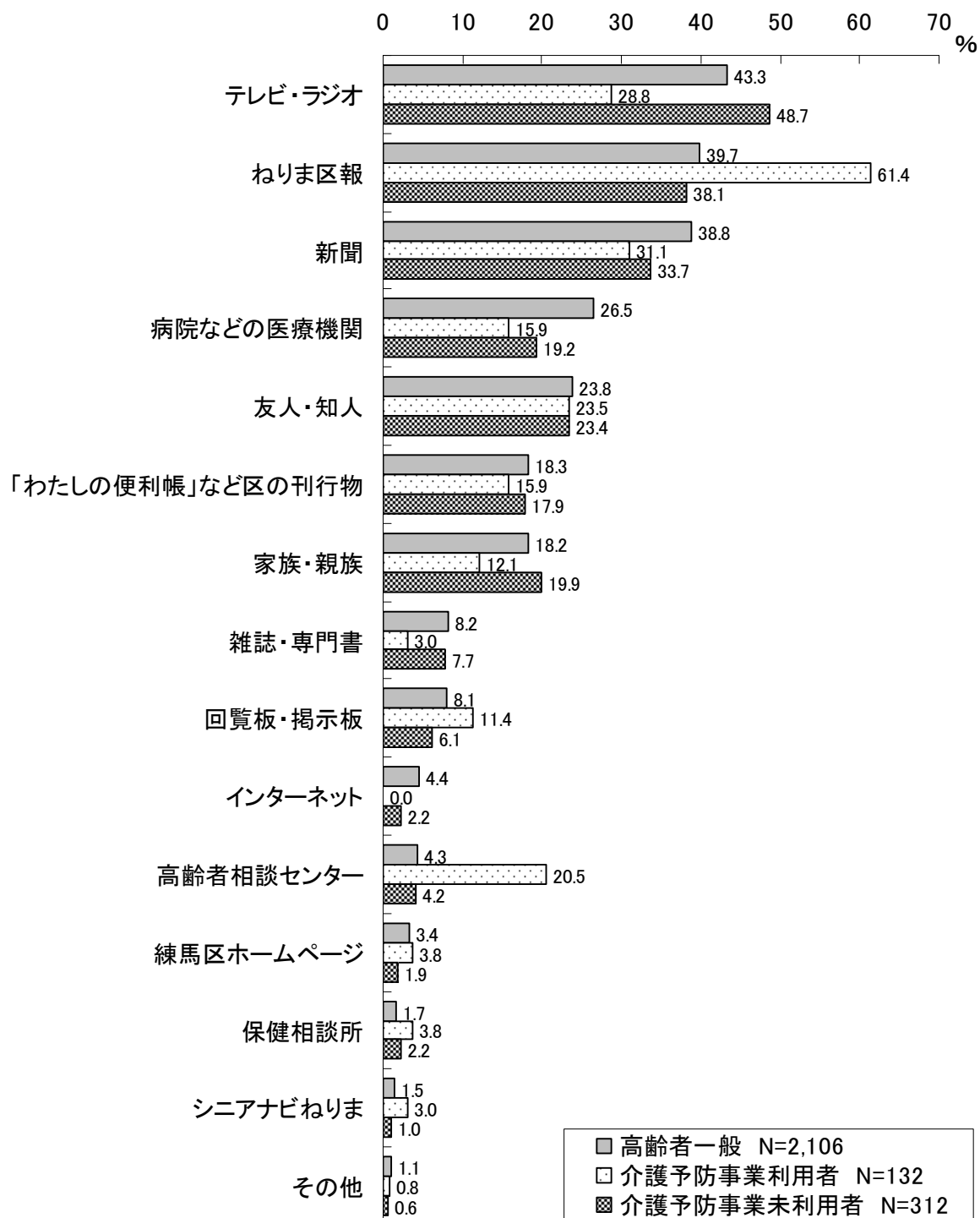


図表 16 現在の不安や悩み事／介護サービス利用者・介護サービス未利用者 (複数回答)

(5) 健康や保健福祉に関する情報源

ア. 高齢者一般調査（高齢者一般、介護予防事業利用者、介護予防事業未利用者）について、健康や保健福祉に関する情報源をみると、全体では「テレビ・ラジオ」「ねりま区報」「新聞」の割合が多くなっている。

イ. 介護予防事業は区が実施する事業であり、参加経験を持つ介護予防事業利用者では特に、「ねりま区報」「高齢者相談センター」と回答する割合が高くなる傾向がみられる。



図表 17 健康や保健福祉に関する情報源（複数回答）